

# メロングリソジン

媒体名	ヘルスライフビジネス
掲載日	2011年11月1日号
タイトル	インタビュー 機能性素材「メロングリソジン」 世界の医療機関や クリニックから高い評価

## 来日インタビュー

### イソセル社 フランソワ・ウィックス社長

SODやカタラーゼ、GPRxといった体内の抗酸化酵素を誘導する唯一の機能性素材「メロングリソジン」の開発メーカーであるイソセル社のフランソワ・ウィックス社長が日本の独占販売代理店ニエートリジョン・アクトの招聘で来日した。「メロングリソジン」は、SOD酵素を含むメロン抽出物と小麦グリアアディンを結合した特許素材で、この特別な組合せが免疫応答反応を介して細胞内の抗酸化酵素を誘導する機能性を持つ。海外では40カ国地域で採用の実績がある。海外では代替医療学会からの推薦もあり、現在、複数の医療機関で免疫賦活素材として採用されているほか、米国を中心にアンチエイジング素材としても美容整形医から高い評価を受け、ハリウッド女優の間でも話題となっているようだ。メロングリソジンのコンセプトや海外での最新動向についてインタビューした。



フランソワ・ウィックス氏

## 機能性素材「メロングリソジン」

### 世界の医療機関やクリニックから高い評価

「現在、どのような研究を行っていますか。ウィックス 特にプロセスポーツ分野で酸化ストレスへの対応を研究しています。プロセスポーツの世界では、過度の酸素の取り込みに伴って発生する体内の酸化ストレスを上手に処理できなければ、この酸化ストレスの蓄積が疲労を招くわけです。メロングリソジンは

酸化ストレスに対応し、つまり回復力を高めることができます。研究は、炎症マーカー（C反応性たんぱく質）を評価して、メロングリソジンの効果を検証しています。研究拠点については、ウィックス 基礎研究はフランスの大学が拠点で

性や製品の信用を高められると考えます。医療分野でも高い評価。医療分野での評価は、ウィックス メロングリソジンの開発に関わったのは、国立病院でエイズの研究をしていた2人の免疫学者でした。その意味でも、初期

の病院で採用されています。特米国では、がんやエイズといった免疫不全にかかわる患者に使われるケースが多くなっています。そのほかメデイカルエッセイの分野、例えば整形手術後の副作用の抑制や、施術後の早期回復のために使われることもあります。

免疫以外の訴求は、ウィックス 細胞やDNAの保護に関する基礎研究から派生する応用分野として循環器系の分野、アンチエイジング、目や皮膚を様々な分野へ広がっています。これまでに20以上の論文が発表されています。

「米ハリウッドでも話題だとか。ウィックス こうした商品は皮膚科医や整形医、エステティシャンが推奨してもらうため、歌手や俳優などのハリウッド女優も愛用しています。最大の理由は、摂取後の体感が非常に優れるからです。

「一部のサブリの販路は、ウィックス すべてがクリニックや美容整形医を通じてしか手に入りません。取扱ハリウッドの数は、ウィックス 米国でブランド展開して約1年半で200近い施設に使われています。最終的には2000が目標です。医師は素材のどの点に注目していますか。ウィックス 酸化ストレスによって引き起こされる老化という観点から、アンチエイジング素材として注目されています。また、私達が展開するサブリメントは、試験で実際に効果を確認された適正量を商品に配合しています。クオリティの高さ、研究エビデンスの豊富さが

ですが、応用研究は日本、韓国、米国、イギリスなど世界各国の大学機関と協力して行っています。国際的な広がりを持たせているのは、環境や食文化が異なる地域でメロングリソジンの普遍的な有用性を確認するためです。それにより汎用

段階から医療向けの視点で開発された素材です。こうした背景から、エイズの発見者でもあるモントニエ博士といった国際的に著名な研究者がこの素材に興味を持ってくださいました。一帯研究での採用は、ウィックス 現在、各国

ヨーロッパでは代替医療として使用されています。メロングリソジンは、ヨーロッパ最大の代替医療学会（CMA）にサブリメントとして唯一、学会の公認を受けています。米国でも補完代替医療学会から推薦を受けている素材です。

「美容分野での動きは、ウィックス 米国で展開しているメロングリソジンを配合したサブリメントがあります。デトックス、アンチエイジング、紫外線防御などの訴求で販売されていますが、美容整形医から非常に高い評価をいただいています。

「日本市場には期待と壁。日本の市場については、ウィックス 日本市場は販売、原料供給の両面から非常に重要であるとの認識を持っています。一方で、薬事法があるため、非常に難しい市場であるとも思います。日本の医療分野のマーケットが非常に小さい点も懸念材料の一つです。ただ、将来の日本市場には非常に期待しています。

医師を絡ませ、高い評価を得られているのだと思います。日本市場には期待と壁